

モリタ(宮崎市)航空宇宙認証取得

自動車部品製造や産業機器販売を手がけるモリタ(宮崎市佐土原町、森田邦宏会長)が、航空・宇宙・防衛品質マネジメントシステム「JISQ9100」の認証を取得した。航空宇宙産業への本格参入に不可欠とされる世界基準の規格。顧客満足度を重視する企業姿勢を県内外へアピールし、自動車に次ぐ第2の柱としてシェアを拡大していく考えだ。

JISQ9100

JISQ9100は、品質保証に関する「ISO9001」に航空宇宙産業で求められる項目を追加した認証審査。取得企業はISO9001の1・9%という難関だ。県内企業ではミツハガネ(延岡市)に続き2社目。



JISQ9100認証を取得したモリタの森田邦宏会長(左)と金井俊一取締役工場統括部長

産業本格参入、第2の柱へ

マニュアル(約70%)を作成。10章120項目に上る要項について運用、検証、修正を繰り返し、延べ5日間に及ぶ審査をクリア。8月18日付で認証された。

航空宇宙産業の取引先は現在、宮崎日機装(宮崎市高岡町)とジャムコ(東京都)の2社。ジェットエンジン逆噴射装置用部品「カスケード」の加工やシートなど内装部品の製造を請け負っている。

JISQ9100を取得したことで既に新規事業の契約が決定。今後は得意とする部品加工や組立業務での受注拡大も目指し、営業活動に注力する。将来的には全国展開も視野に技術者を養成。航空宇宙関連の売上高シェアを2025年までに倍の30%に増やすのが目標だ。

森田会長は「当社が力強い企業へ一歩前進するための礎ができた。会社を成長させることで、この喜びを社員の喜びへつなげたい」と飛躍を誓う。(樋口由香)